

表題	メルキーパーによる省エネ化(CO ₂ 削減)	番号
		炉技-5
CO ₂ 削減効果	31t/アルミt (アルミ 300kg/h 溶解炉の場合)	
	従来比 18% 削減	

1) 改善内容

メルキーパーでは、溶解材料を上部より投入し、タワー内で熱交換する事で従来炉より燃料原単位を向上し省エネルギー化(CO₂削減)を計る。

具体例：

【従来炉】

ルツボ式溶解炉では溶解材料の予熱は十分行う事が出来ない。

平均燃料原単位 85万 kcal/t=79m³/t

都市ガス(13A)のCO₂排出量

$79\text{m}^3 \times 2.234 = 176\text{t/アルミt}$

【MK炉】

溶解室及び上部タワー内で溶解材料の予熱を行う。

平均燃料原単位 70万 kcal/t(連続溶解時)=65m³/t

都市ガス(13A)のCO₂排出量

$65\text{m}^3 \times 2.234 = 145\text{t/アルミt}$

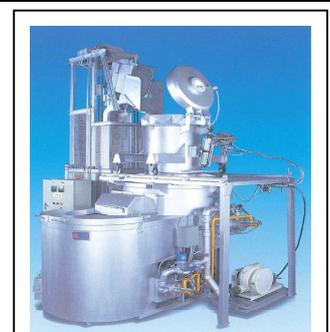
※ 都市ガス(13A)の理論燃焼生成ガス量 CO₂ 2.234t/t

2) CO₂削減予測効果：18%

製品紹介

メルキーパー

ジェットメルターのタワー部と坩堝炉をドッキングした省エネ型で、メタルロスの少ない高品質のアルミ溶湯が得られ温度管理が容易で且つ、定期炉修が不要の特長を備えております。



【問い合わせ先】

日本ルツボ株式会社